

■子ども未来園 施設整備計画

1 子ども未来園の抱える現状と課題

(1) 施設整備面

- ① 多くの園が建築経過年数 50 年近くとなり施設の老朽化が進行している。
- ② 現在の園舎の建築当初は、3 歳以上児の保育を中心に想定していたため、3 歳未満児の保育に対応する施設が不十分である。
- ③ 保育ニーズにあった施設環境でない。
- ④ 保護者の多くは、車での送迎が多いため、駐車場が不足している。

(2) 少子化と保育ニーズの変化

- ① 園児数の減少により、各園で複数クラスの編成ができない状況であり、集団保育の中で養われる社会性や人と関わる力などが育ちにくい環境になっている。
- ② 多くの保育士が必要となる 3 歳未満児のニーズが増加しているため、保育士確保が厳しくなっている。

2 課題解決のための検討事項

- ① 現在の子ども未来園のままで延長保育等の保育機能を集約する。
- ② 指定管理者制度を導入する。
- ③ 子ども未来園を集約（統合）する。
- ④ 子ども未来園を集約し、その一部を私立保育園とする。

3 これまでに実施してきた対応策

平成 27 年度から、保育機能を集約することにより、以下の項目について実施し、よりよい保育環境の提供と適正かつ効率的な保育士の配置を行ってきた。

- ① 土曜保育の集約（平成 27 年度から）
- ② 丸山保育園の 2 歳児からの受入（平成 27 年度から）
- ③ 障害児保育の集約（平成 29 年度から）

4 課題に対する今後実施すべき対応策

当市の子ども未来園は、施設の老朽化がすすみ、建て替え、修繕等が必要である。

建て替え、修繕等の際は、保育サービスの維持向上を踏まえ、保育ニーズにあった環境整備を整える必要がある。（3 歳未満児の需要の増加に対応）

また、市の財政負担の面でいうと、施設の建替えについては、民間が園舎を建設する場合は、国からの補助金を活用ができるが、市が建設する場合は、国から交付される補助金はなく、全額市負担となる。

また、建設後の保育所運営費についても、民間が運営する場合、国、県から補助金が交付されるが、公立保育所の運営費に対する補助金はない。

こうしたことから、園舎建て替え時期にあわせ、民間活力を活用した、公立保育所の民営化をすすめていくものである。

5 施設整備における基本方針

- ① 園舎の老朽化等による施設更新
- ② 未満児保育の受入人数の充実（3歳未満児保育ニーズに対応）。
- ③ 公立保育所の統合にあわせた一部民営化（民設民営）
- ④ 民営化しても、市内全体の保育所定員数は維持
- ⑤ 地域的事業（橋爪・五郎丸）、借地期間満了（羽黒）など事情により優先順位の高いものから着手。（概ね10年程度で実施）
（橋爪・五郎丸：公設公営）（羽黒：民設民営）
- ⑥ 他の施設は、長寿命化計画のなかで維持管理対応とする。

6 公立保育所の民営化について

- ・ 公立にはない特色ある民間事業者による保育サービスの提供により、保護者にとっては、選択の幅が広がる。
- ・ 建設費については、多額の費用を必要とすることから、国、県から交付される補助金を活用することで、市財政負担の軽減を図ることができる。
- ・ 民間保育所の参入により、保育内容の考え方など研修の充実により、市内保育所全体の保育の質の向上につながる。

7 公立保育所民営化実施に向けた基本方針

- ① 園舎建設から民間事業者が行う（民設民営）
- ② 土地は無償貸与、民間事業者により園舎を建設し、事業運営を実施
- ③ 民営化移行準備期間・・・保護者への説明及び民営化実施園について、最低3年必要（民営化決定時の3歳児は当該保育所で卒園できるよう配慮）
- ④ 事業者の決定から民営化実施までの期間は、1年以上

【子ども未来園 施設整備10ヶ年計画】

地区	園名	建築年	構造階数	延床 (㎡)	築後 (R1年度)	大規模 改修	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (2022年12月 市長選挙)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度					
							R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12					
橋爪 & 五郎丸	五郎丸	S47.4	鉄骨造1階	1,050.28	47	H19・H20	①移転場所及び移転時期の確定 ○移転場所：新たな都市拠点及び交流エリア内 ②公表（R1年度末～R2年度当初） ・議会 ・地元説明 ・在園児保護者 ・子ども・子育て会議																
	橋爪	S55.3	鉄骨造1階	943.83	39	—		測量調査委託料 不動産鑑定・用地買収 基本設計 実施設計 園舎建築				園終了	公園用地化（橋爪・五郎丸園舎解体等）										
新保育園 五郎丸・橋爪子ども未来園統合による移転																							
羽黒 & 羽黒北	羽黒 【借地終期】 2027年3月31日 (令和9年3月31日)	S55.3	RC2階	1,213.63	39	H22	羽黒及び羽黒北を統合し旧市民プール跡地へ移転 ○公表（R1年度末～R2年度当初） ・議会 ・地元説明 ・在園児保護者 ・子ども・子育て会議	羽黒借地借用期間 R9.3.31（R8年度）終了															
	羽黒北	S46.3	鉄骨造1階	937.33	48	H17 R1耐震改修工事		民間事業者による設置 に向けた募集準備 プール構築物 等解体撤去 ・整地															
	新保育園 （羽黒・羽黒北） 場所：市民プール跡地 民間事業者による建設及び運営 ※ 羽黒児童センター機能を加える							羽黒北子ども未来園・園舎及び用地の利活用の検討															
四季の丘（保育園用地） 民間事業者による建設及び運営																							
							募集 子どもに関する事業について提案募集（サウンディング調査）																

◎上記以外の園については、長寿命化計画のなかで維持管理する対応とする。